

議会だより

令和7年 6月定例会

令和7年度一般会計・特別会計・公営企業会計補正予算

総括質疑

4議員が町政を問う

現地視察

第1回臨時会

第2回臨時会

行政視察

議員レポート



1億6313万9千円を追加

(総額58億9513万9千円)

主な歳出

- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業 4897万円
- 睦合小学校外構改修工事費 8800万円
- 小学校閉校記念事業費補助金 1013万円
- 納付書消込データシステム改修委託料 478万円
- 電柱移転料(町道佐野線) 442万円
- 南部小学校校歌作詞作曲委託料 150万円

令和7年第2回定例会は、6月10日に開会し、報告1件、請願2件、発委2件、発議2件を承認し、一般会計補正予算2件、特別会計補正予算4件、公営企業会計1件を可決し、13日に閉会しました。

一般会計補正予算

補正額は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億6313万9千円を追加し、予算総額は58億9513万9千円です。

主な使いみちは、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業、睦合小学校外構改修工事費、小学校閉校記念事業費補助金、納付書消込データシステム改修委託料、電柱移転料(町道佐野線)、南部小学校校歌作詞作曲委託料等です。

(賛成・全員)

特別会計補正予算

● 指定居宅サービス特別会計
補正額は、13万5千円を追加し、予算総額は9561万円です。使いみちはサービス事業費です。

● 国民健康保険特別会計

(事業勘定)

補正額は、200万2千円を減額し、予算総額は9億5737万4千円です。内容は人事異動等に伴う一般管理費

(賛成・全員)

です。

(直営南部診療所施設勘定)

補正額は、33万2千円を追加し、予算総額は1億2371万8千円です。使いみちは医療用機械器具費です。

(直営万沢診療所施設勘定)

補正額は、7万9千円を追加し、予算総額は5665万6千円です。使いみちは医療用機械器具費です。

● 介護保険特別会計

補正額は、72万8千円を追加し、予算総額は11億5741万4千円です。使いみちは一般管理費と地域支援事業費です。

● 後期高齢者医療特別会計

補正額は、194万6千円を減額し、予算総額は2億8385万3千円です。内容は人事異動等に伴う一般管理費です。

(賛成・全員)

公営企業会計補正予算

補正額は、520万8千円を減額し、予算総額は3億1372万9千円です。内容は人事異動等に伴う総経費です。

(賛成・全員)

報告(第3号)

令和6年度繰越明許費繰越計算書

令和6年度中に事業が終わらず、令和7年度に繰り越した事業費について、地方自治法施行令第146条第2項の規定により次の通り報告がありました。

(賛成・全員)

事業名	金額(千円)
林道剣抜大洞線改良工事	34,540
町道東根熊小峠線改良工事	16,298
学校適正配置事業	24,566
非課税世帯物価高騰対応重点支援給付金事業	28,915
子育て世帯物価高騰対応重点支援給付金事業	662
中山間地域総合事業	5,700
合 計	119,214

条例の改正

●南部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償の一部を改正する条例の制定

国会議員の選挙の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正する必要が生じたため。

(賛成・全員)

発議

●発議第1号

予算決算特別委員会の設置客観的な視野と住民の立場に立って、令和6年度決算を審査するため、地方自治法第109条及び南部町議会委員会条例第6条の規定により予算決算特別委員会を設置するものである。

(賛成・全員)

●発議第2号

南部町議会議員行政視察研修の実施

本町の課題である、地域の足の維持、確保について学び、課題解決へ向けた参考とする。

また、本議会が掲げる議会基本条例に則った議会運営について、その検証、評価の方法を学び、今後の運営の参考とする。

(賛成・全員)

請願

●請願第1号

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を政府に求める請願

請願第1号については総務建設常任委員会において請願の趣旨に沿うことが妥当であるとして、採択するべきものと決定された。

(賛成・全員)

●請願第2号

「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願

請願第2号については文教厚生常任委員会において請願の趣旨に沿うことが妥当であるとして、採択するべきものと決定された。

(賛成・全員)

発委

●請願第1号に係る意見書の提出

ジェンダー平等の実現、その実効性を高めるため、国連が採択した、選択議定書に日本はまだ批准していない。

各国における男女格差を示すジェンダーギャップ指数でも、日本は常時下位に位置し、男女格差を無くすために具体的な取り組みを加速する必要がある。

女性差別撤廃条約選択議定書の批准は、ジェンダー平等後進国という日本の現状を変えるための一歩であり、速やかに批准することを政府に強く求めるため、本意見書を提出するものである。

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・

総務大臣・法務大臣・外務大臣・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)

●請願第2号に係る意見書の

提出

えん罪は、国家による最大の人権侵害の一つである。その救済のための手続きを定めた法律が再審法となるが、法には審理のあり方に関する規定はほとんどなく、公平性が損なわれている。また、再審において、捜査機関の手元にある証拠を開示する規定も存在しないため、制度化が不可欠である。

さらに、再審開始決定がなされたとしても、検察官による不服申し立てにより、再審公判への速やかな移行が妨げられており、えん罪被害者の早期救済のため、再審法の速やかな改正を政府に強く求めるため、本意見書を提出するものである。

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・

法務大臣



総括質疑

問 Jアラートの新型受信機の導入事業について、Jアラートとの関係は。

交通防災課長 今回の改修は、国の放送のJアラートの改修でありJアラートとは、関係はありません。

問 Jアラートは、予算措置をしなくてもいいのか。

交通防災課長 その通りです。

問 非課税世帯物価高騰対応重点支援給付金事業の進捗状況は。

福祉保健課長 この事業は、

本日現在、給付状況は、694世帯で2082万円です。事業自体は、7月11日まで実施しています。

問 南部小学校の校歌の作詞、作曲は誰なのか。その経緯について。

学校教育課長 昨年の秋から

学校関係、教育委員会で検討を重ねてきました。方針として、南部町に由縁のある方、また、南部町の学校に由縁のある方で検討しました。

作詞者は、絵本作家の宮西達也氏です。作曲者は、山田ミュージックランドの代表を務めています山田勇氏です。

問 学校適正配置の負担金、小学校記念行事費の説明を。

学校教育課長 睦合小学校、

栄小学校の閉校記念事業で記念式典に関わる費用等です。

また、閉校記念の記念碑を建立する記念碑事業と記念誌を作成する記念誌事業になります。

睦合小学校が537万3千円、栄小学校が476万5千円の予算です。

問 鳥獣害防止総合対策事業費補助金の説明と大きさと設置場所は。

産業振興課長 移動式のサル

用の捕獲囲いなどで、大きさは4.5m×6.5mです。場所は南部地区に1基追加設置します。



猿の檻

問 学校適正配置事業8800万円の工事請負費の説明を。また、臨時会で購入したスクールバスの車庫についてどうするか。

学校教育課長 睦合小学校の外構の整備事業です。プー

ル解体後、スクールバスのロータリーの整備、乗降場所の設置、保護者の送迎用の駐車場等の整備になります。

工事の内容については、アスファルト舗装、フェンスの設置、電気設備工事等になります。スクールバスの車庫の設置については、今後、検討します。

問 保育所総務費の会計年度職員の報酬がマイナスの説明を。また、これをマイナスにしても職員は足りているのか。

子育て支援課長 人事異動等

によるものと退職された会計年度任用職員の退職による調整です。

マイナス計上になっていますが、通常どおり業務できます。

問 土木費、電柱移転料442万円の説明を。

建設課長 町道佐野線の拡幅

工事です。ピュア峽南の前の電柱1本の移転になります。高額なのは、電柱が複雑なことにあります。

問 保健衛生総務費の地域医療連携法人負担金61万6千円の説明を。

福祉保健課長 地域医療連携推進法人みなみやまなしの法人本部職員事務長の人件費の町の負担分です。

今後は、設立のための各町の負担割合が定まってくる。

8月下旬の設置許可を見据えて、9月1日から事務組合の事務を開始したいと考えています。

問 物価対応対策重点支援地方債臨時交付金62万8千円の対象人数の説明を。

税務課長 1229名です。ただし、これは見込みなので今後増減します。



わかばやし りょういち
若林 良一 議員

問 アルカディア総合公園・多目的広場の実態は

答 広域的な活用を図る

問

現在の子供達は、スマートフォンなどの影響で外遊びの機会が減り、体力低下やコミュニケーション不足が社会問題になっています。

これは大人にも共通し、運動不足が懸念されています。町では世代を超えた交流やスポーツの場として多目的広場を整備しましたが、実際には十分に活用されていないようです。

芝生の状態や使用制限などの問題もある中、今後の使用について、県外との交流促進、ネットでの広報によって町の活性化に繋げるべきだと考えます。多目的広場の今後の活用方針についての見解を伺います。

生涯学習課長

集客面では、

厳しいものがあります。町のイベントでの使用については、5月のアクティブチャレンジ・8月の南部の火祭り・10月のアルカディアフェスタが3大事業となります。平日の利用については、ウォーキングが中心となり1日の利用は休日比べて少ない状況になっていますが毎日の利用を楽しみにして

いる方々もおります。

芝広場の芝は当初、緑化期間・耐路・耐暑・耐寒等を総合的に評価した改良高麗芝を採用予定でしたが、建設コスト、維持管理費の問題から県内にも実績がある改良高麗芝よりも格安な

問

防災野外拡声器の設置も必要と思うが

答

Ｌアラート等の活用

問

災害時はＦＭ告知端末や移動系無線・衛星電話で対応するとしていますが、野外で活動している町民も多く、野外拡声器の必要性が高まっています。

防災の観点からも今後は予算面を考慮しながら設置の検討をすべきだと思いますが町の考えを伺います。

総務課長

現在、緊急放送は、町内小中学校の校内放送を自動起動させ、野外で聞くことは可能となっております。町内全域をカバーするた

野芝（エルトロ）を採用しました。

多目的広場は、町のシンボリックな存在であるため、この広場を活用し町内はもちろん町外からの集客を増やし観光や経済の発展にもつながる活用方法を考えて

再質問

ＤＸ推進課・交通防災課を中心に携帯電話等を最大限に活用した情報発信は、どの様にして町民に告知するのか、伺います。

交通防災課長

災害時にＦＭ告知端末やＪアラートが使えない場合には、山梨県と市町村が連携し『Ｌアラート』システムを活用しテレビのデーター放送、ラジオを通じて住民に情報を伝達いたします。その他、デジタル・アナログ無線機や衛星電話の使用も検討しています。

いかなければなりません。今後は生涯学習課・各課との連携や町内外の企業、さらには広域な活動を図れるように方策を見つけて行きたいと思っています。

問

南海トラフ地震 被害想定地域の対応は

答

安全な居住環境を 提供できるよう努める



もちづき のりゆき
望月 憲之 議員

問

南海トラフ地震が発生した場合の新しい被害想定を内閣府中央防災会議の有識者会議が公表しました。

阪神大震災や能登半島地震では、死因の多くが家屋倒壊による圧迫死であったとしています。特に南部町は木造住宅が多く、地震発生時には建物倒壊による被害、避難生活による体調不良などが懸念され、建物の耐震化やシエルターなどの取り組みが求められます。町内の耐震化の状況と地震発生時の取り組みを伺います。

交通防災課長

昭和56年以前に建築された木造住宅に対し、無料耐震診断の実施、耐震補強工事等の補助金制度、耐震シエルターの設置補助等、多くの方々に安全な居住環境を提供できるよう努め、耐震診断351件、耐震改修16件を完了しております。

南海トラフ地震に備えた地域防災計画や受援計画、国土強靱化地域計画を策定し、国や県、他自治体との連携を強化することで、災害時のスムーズな人員移動

交通防災課長

地域ごとの実

問

答 避難訓練・災害対策強化に努める

自然災害はいつやってくるか分かりません。雨のため役員のみの訓練となりました。災害が発生した時のための訓練であり、こんな時だからこそ避難訓練が必要であるとの意見も伺いました。事前の備えとしてさまざまな取り組みを行うことで、災害発生時の落ち着いた行動と減災につながると思います。

被害想定に応じた避難訓練や避難所対応が必要だと考えるが、町の対応を伺います。

問 避難訓練と災害発生時の対策強化は

再質問

災害ボランティアと福祉支援センターとの関係、運用アプリの活用と訓練はどうなっているか。

交通防災課長 災害対策本部の福祉保健部、アルファセンター班が災害ボランティアセンターの開設から受け

入れ、運営までの責任を担っています。
LアラートやJアラートの訓練は国や県と共同で実施、公式LINEについては定期的に訓練を実施していきます。

実践的な避難訓練、避難所の機能強化や避難所運営の円滑化、各種計画やマニュアルの更新、情報提供の強化、地域コミュニティの防災力強化など、南海トラフ地震や土砂災害に備えるため、避難訓練や災害対策の強化に努めます。

交通防災課長

南部町防災会議における女性委員の割合は26名中2名の女性委員を任命、約8%です。今後も女性の積極的な参加を促進し、多様な視点から防災策を強化します。

再質問

内閣府では地域防



あしざわ じゅんいちろう
芦澤 潤一郎 議員

問 町の水田耕作の現状は

答

持続可能な農業発展に 全力を尽くす

問

水田耕作は、耕作人数、耕作面積ともに年々減少しており、高齢化などにより、今後ますます減少が進むと考えられる。一方で、耕作放棄地を借りて作る人がいる。「農地バンク」は、農地を貸したい人と借りたい人をマッチングする仕組みだが、作りたい人に土地を提供することができれば、耕作放棄地も減るのではないか。作り手と貸し手を考慮した水田耕作を町が指導することは可能か、町の考えを伺います。

産業振興課長

若い世代の農業への参入促進を図り、町が最大限の支援をします。蓄積された荒廃農地のデータを活用し、問い合わせがあった際に、最適な農地を紹介し、所有者との仲介・斡旋もします。地域の様々な農産物の販路拡大を図り、町の持続可能な農業発展のために全力を尽くします。

再質問

水田耕作に伴う水利についてどのように考えているのか。

また、各水利組合の今後の補助について伺います。

産業振興課長

町内には14の水利組合があり、富士川、福士川、戸栗川などを水利としており、近年、いずれの河川でも水位の減少が観測されており町では、積極的な対策が必要だと考えています。

町では、農業水路改良工

問 町の子育て施策は

答 適正な保育士数を確保

問

保育現場の人手不足は、保育士の精神面のケア体制が十分ではないからだと考える。それをクリアすれば、離職を防ぐことができる。

現在、子育て世代の移住・定住の施策を検討しているが、施策を遂行できる人材を今から準備することが必要ではないか。町の考えを伺います。

また、「第3期南部町子ども子育て支援事業計画」の基本目標の実現に向けた課題等について伺います。

子育て支援課長

保育士数の減少は、職務内容の厳しさの影響も否定できない。現

事補助金や農業基盤整備等補助金を活用し、年度予算を組んで補助を行っています。

しかし、最近の材料価格と人件費の高騰により、補助額の上限を引き上げました。今後異常気象等による干ばつなど農業の安定した水の供給に向けて、農業基盤整

時点では、適正な保育士数を確保できているが、移住・定住対策で子どもの数が増加した場合も、しっかり対応できるように、必要な準備を進めます。

南部町子ども子育て支援事業計画は、子育て世代の方々が住みやすい環境の整備や情報発信の方法が課題で、計画の周知に努めます。

再質問

県と人口減少対策について連携協定を結んだ、その協定書の内容について説明を。

企画課長

県と南部町が協議連携して、子育て世代向け

備の補助金を積極的に活用します。

今後も、持続可能な水田耕作の実現に向けて、国や県との連携を強化し、より良い解決策を見つめるために努力します。

の最適な住宅および環境を整備し、整備後の効果検証をする中で、問題解決に向けた情報収集を行い、対策に結び付けていくことを目的としています。期間は、令和11年3月31日までの4年間です。

直接的な事業執行は、知事直轄にあり、人口減少危機対策課の人口減少危機対策本部事務局と町企画課が担っており、財政的な支援も含めて協議を進めています。

また、この事業執行は、南部町に課された使命であると考えていますので、県と町がタッグを組んで取り組んでいきます。

町長

私は、スピード感を持って、この事業を必ず実行します。ですから、ぜひ皆さんからご理解をいただきたい。

問

地方創生交付金の活用状況は

答

有利な補助金の活用を検討



もちつき こころ 望月 小五郎 議員

問

少子高齢化・人口減少の中でも、特色ある町づくり在不退転の決意で取り組み、町を活性化させたサクセスストーリーが各地で生れています。

成功例の多くは、国等の支援策を十分に活用し、その地域の産業や自然を最大限に生かし、関係人口を増やし富を生み出し、循環させる取り組みが行われています。

本町においても、地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金・デジタル都市構想推進交付金を最大限に活用した観光資源整備・二地域居住の推進・サテライトオフィスなどの整備を進め、可能性を実感できる町づくりが重要です。

地方創生交付金活用の現状と今後について伺います。

企画課長

南部町においての交付金活用状況は、平成27年から30年にかけて「NPO法人南部里山研究会」への支援や竹林整備等の実施・「お試し住宅」の整備など、南部町の特色を発揮しうる事業展開を行ってきています。今後町では、国からのいろいろな支援を活用し、町民ファーストで未来の南部町のために最優先される事業執行に、地方創生交付金を含む有利な各種補助金の活用を検討していくことが重

再質問

要であると考えています。きていない「お試し住宅」の検証・対策について伺います。次に、交付金を活用した観光資源整備・移住促進のための空き家整備について町の考えを伺います。

問

児童館施設の未来像は

答

学童保育との連携も視野に入れて検討

問

栄小学校と睦合小学校の統合、富河児童館の老朽化などを鑑み、児童館と学童保育の一体化も視野に入れた運営など今後の児童館施設整備に関する町の考えを伺います。

子育て支援課長

は、築35年が経過し建物の設備や老朽化が進んでいること・開館時間が午後2時から4時と限られていること・栄小学校、睦合小学校の児童が利用しにくいことも課題として受けとめています。他自治体では、児童館と学童保育の一体運営して、施設の効率的な活用と多様

企画課長

利用者に事前事後アンケートを実施し検証していますが、検討中の回答はあるが、移住には繋がっていません。今後地道なPRが大切と考えています。移住促進の空き家整備については、町で行っているリフォーム補助制度が交付金

な支援を実現している事例もありですが、統合することとで管理が複雑になり、個々のニーズの対応や安全に過ぎる環境の維持が難しくなり資格を持ったスタッフの配置が必要となるため、導入には慎重にならざるを得ません。しかしながら「安心して過ごせる場所がすくない」「室内の遊び場や交流施設を充実させてほしい」などの声を真摯に受け止めています。

現時点では、児童館の再整備について具体的な計画はありませんが、施設の老朽化や子育て世代のご意見を踏まえると、今後の児童館の在り方については、学

再質問

童保育との連携も視野に入れた検討を進めて参りたいと考えています。

子育てに優しい町の未来に絶対に必要であるならこのタイミングでの整備が財政面などでの負担軽減につながるのではないのでしょうか、総合センター併設のピッピルムの時間延長要望と合わせて町の考えを伺います。

子育て支援課長

新たな施設整備には、建設費や職員の確保等さまざまな課題の検討が必要となり再整備には慎重にならざるを得ません。富河児童館の予防的修繕、長寿命化に努めていきたいと考えています。次に総合センター併設のピッピルムの時間延長については、ニーズ調査やスタッフの確保を検討し要望に応えていきたいと考えています。

現地視察報告

視察日 令和7年6月11日(水)

○株式会社イエーガー

楮根区にある「イエーガー南部工場」に視察に行きました。

この工場は、捕獲された野生鳥獣の処理とジビエとしての流通を目的に整備された施設です。

社長の富永氏、工場長の小嶋氏より説明を受けました。

町の鳥獣被害対策や地域資源の有効活用において大きな役割を果たすことを目的としています。視察では、搬入から加工、出荷に至るまでの一連の行程について説明を受け、衛生管理や品質管理の取り組み、また販路拡大に向けた今後の取り組みについて意見交換を行いました。特に、他の施設と違う、食の安全、ウイルス検査を行っていることに感銘を受けました。

町では、イノシシやシカによる農作物の被害が深刻な問題となっています。この工場

の活用は、農作物の被害対策だけでなく、地域経済の活性化や雇用の創出にもつながるものと期待されます。



ジビエ加工場

○ブラックスミスアウトドア

フィールドキャンプ場

井出区にある「ブラックスミスアウトドアフィールド」を視察しました。

代表の佐野氏より説明を受けました。

この施設は、南部町の豊かな自然環境を最大限に活かしたキャンプ場・アウトドア施設であり、県内外から多くの

利用者が訪れています。施設内には、キャンプサイトや炊事場、レンタル用品、シャワー室などの設備面に加え、運営者による創意工夫、情報発信の方法、利用者との交流づくりといった工夫にも触れることができました。

運営者が地域の資源を大いに活用しながら、観光振興や交流人口の創出につなげていく姿勢は、今後の町づくりにおいて大変参考になり、多くの学びを得る視察となりました。

最後に、こうした民間の取り組みと連携しながら、町の魅力を高める政策づくりに私たちは、今後も取り組んでまいります。



にぎわうキャンプ場

第1回臨時会

令和7年度第1回臨時会は、4月25日に開会され、専決処分に関する報告2件、条例の改正1件、人事案件1件について原案どおり承認・可決し同日閉会した。

○報告

専決処分（2件）

●南部町税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法施行規則の一部を改正する省令が令和7年3月31日に公布される事に伴い、南部町税条例の一部を改正する必要があるが、議会を招集する時間的余裕がなかったため。

（賛成・全員）

●南部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が令和7年4月1日から施行されたことに伴い、南部町国民健康保険税条例の一部を改正する必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため。

（賛成・全員）

●南部町税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法及び地方税等の一部を改正する法律の一部を改正する法律及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、本条例の一部を改正する必要があるため。

（賛成・全員）

○教育委員会委員の任命

●南部町南部8122番地
望月 聡 美

（賛成・全員）

第2回臨時会

令和7年第2回臨時会は5月21日に開会され、工事請負契約の締結1件・物品購入契約の締結2件を原案どおり可決し同日閉会した。

○工事請負契約の締結

●契約の目的

南部地区新小学校校舎改修工事

●契約の方法

条件付き一般競争入札

● 契約の金額

5億3564万5000円

● 契約の相手方

山梨県甲府市飯田

4丁目10番地27号

長田組土木株式会社

(賛成・全員)

○ 物品購入契約の締結

● 契約の目的

南部小学校スクールバス購入(45人乗り)

● 契約の方法

指名競争入札

● 契約の金額

1979万2850円

● 契約の相手方

山梨県南巨摩郡南部町

富士2898番地1

株式会社

ボディースョップ望月

(賛成・全員)

○ 物品購入契約の締結

● 契約の目的

介護用入浴器購入

● 契約の方法

指名競争入札

● 契約の金額

792万円

● 契約の相手方

山梨県中巨摩郡昭和町

株式会社 匠メディカル
(賛成・全員)

第35回南部町 「たけのこまつり」

4月13日(日)『第35回たけのこまつり』が役場本町舎前で開催されました。

今年なたけのこの裏年で収穫量は少なく、天候にも恵まれず、足元の悪い中でしたが、早朝より県内外から多くの方々が列を成して買い求めています。



まつり開会! みんなで盛り上げ!

実行委員会会長の開会宣言で始まりステージでは南部中学校吹奏楽部や伝統芸能太鼓・お笑い芸人のはなわさんが登場し町の公式キャラクター・タケノコマンたちが会場を盛りあげ、来場者を楽しませていました。

来年は豊作と好天を願います。



旬を求めて

第21回南部町 「あじさい祭り」

6月13日(金)14時開園で今年も「あじさい祭り」が隠れ梅



開会セレモニーに集中

雨の空の下、渡辺副会長の開会アピールから、佐野会長の実行委員会を代表しての思いをこめた、「うつぶな公園」を維持管理して「あじさい祭り」を町民が季節の花を観賞し、穏やかな日常生活を感じられるように、大切にまもっていきたくと訴えられました。

実行委員会の皆さんが一年を通じて、花の摘み取り・選定・肥料散布さらには草刈り消毒作業を行ってきました。公園内を散策観賞し、改めて委員の皆さんが流した汗と苦労を感じました。

会長をはじめ実行委員会の

皆さま、本当にありがとうございます。

また、公園内では町民の方のお店も開店されていて、「あじさい祭り」を盛り上げていました。

紫陽花の花言葉はいろいろな表現がありますが、石川啄木は自らの日記のなかにこんな短歌を残しています。

「昨日より色の変れる紫陽花の瓶をへだてて二人語らず」

歴史に残る歌人であっても歌集に編集しなかった理由はあるはずです。共に考えてみましょう。

この時期世界中に咲いている紫陽花。戦争はやめろと色を変え訴えています。



今年もきれいに咲き誇り

行政視察 研修報告

令和7年6月24日、26日、鳥取県伯耆町と境港市へ研修に行つてまいりました。

両自治体とも風光明媚な観光地を持ちながらも人口減少は否めず、税收減や人口流出は南部町と同様の課題を抱えています。

そんな中でも観光客増を目標とした施策はもとより、町民の生活の質向上への取り組みや議会活動の改革・活性化を推進するなど活力ある町づくりを進めています。

初日は、名山「大山」と日本海に挟まれた自然豊かな、人口1万1000人（令和7年6月現在）の伯耆町を訪ね、地域の足を維持する町営バス事業の取り組みについて研修しました。

人口減少に起因する民間経営の循環バスの撤退を機に、プロジェクトチームを設置、交通弱者などへの聞き取り調査などを繰り返し、平成19年4月にデマンドバス・スクー

ルバス・外出支援バス・研修バスの4種類で運航を開始、幾多の見直しを経て平成23年2月より現在のバス事業の形態になっているとの説明を受けました。

議員からは、事前質問事項としてデマンド交通のメリット・デメリット、従来のバス運行とデマンド運行のコスト面・利便性の比較、予約システムの導入や車両・運転手の確保・利用率などについて質問が出されていましたが、その一つ一つに丁寧な回答・説



伯耆町



利便性の高いデマンド交通

明をしていただきました。

特にコスト面での説明では、デマンド交通は、特別交付税対象であり、単純には導入前との比較はできないが、実質的な町の負担はかなり抑えられるとのことでした。

本町のこれからの人口推移を考えた時、空バス運行はさらに増える予想され、どこかでデマンド交通に切り替えざるを得ない時が来ると予想されています。今後も我が町に有益な情報収集のため伯耆町役場との情報交換を重ねていきたいと思っています。

二日目は、境港市議会を訪問し議会基本条例の検証・評価について研修しました。

境港市は、人口3万2132人（令和7年6月現在）、三方が海に開けた自然環境のもと、海を生かした産業基盤や水木しげるロードなどの観光に力を入れた行政運営が行われています。

境港市議会は、平成26年に議会基本条例を施行、併せて議会改革推進特別委員会を設置し、基本条例にもとづいた議会改革を進めています。

研修は、事前質問事項にそつて行われ、令和5年から6年にかけて行われた見直しの説



境港市

明・会派ごとの検証評価の取りまとめ・検証結果の公表や市民の意見を、どのように議会改革につなげていくか・検証、評価見直しはどのように進めていくか・市民との懇談会についてなど伯耆町同様大変丁寧な説明を受けました。

議員からの関連質問では、実際の評価シートの検証方法・議会基本条例の伝承について・市民との懇談会についてなど多岐にわたりましたが、丁寧かつ詳細な回答説明をいただき、今後の本町議会の参考点も多く見出せました。

研修先の両自治体では、本町議員研修受け入れにあたり、多くの資料・参考文献などを用意くださったその労力と熱意に深く感謝し、お互いの町の発展に向けて引き続き情報交換を願い、研修を修了しました。



水木しげるロード

自治功労者表彰式・ 町村議会議員研修会

5月26日、山梨県自治会館において、自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会が開催され、全議員で参加しました。

最初に行われた表彰式では、山梨県町村議会議長会、前副会長の望月光彦議員に、感謝状が贈呈されました。その後の研修会では、早稲田大学デモクラシー創造研究所 地域経営部会長、中村健氏による「町村議会と地方創生」をテーマに、講演を受けました。地域の未来と、議会の果たすべき役割、重要性を再認識し、研修会を終えました。



功労者表彰

町村議会議長・副議長 全国研修会

5月27日、東京国際フォーラムにおいて、全国の町村議会議長、副議長が一堂に会し、全国研修会が開催されました。

研修会では、内閣府政策統括官、防災担当 松本真太郎氏による「広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」」、明治大学名誉教授 青山侑氏による「平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題」、



全国研修会



オールやまなし

同志社大学名誉教授 新川達郎氏による「災害と議会・議員の役割」をテーマに研修を受けました。

28日は全国町村議員会館にて、山梨県主催、ジャーナリストで毎日新聞社客員編集委員の与良正男氏による「政局展望」について研修を受けました。

また、午後からは、同会場にて、社会資本整備推進山梨県議会議員連盟による臨時総会が開催されました。長崎知事、県選出国會議員、県内各市町村議会議長出席の下、オールやまなしで、社会資本整備を強力に推進するための予算確保に向け、決起集会、要望活動が行われ、参加しました。

町民の声（南部町議会の取り組み）

町政・議員活動・議会運営に町民の皆さんの声を反映させるため、建設的なご意見や、議会だよりへの感想、取り上げてほしい内容を聞かせてください。右記QRコードからお願いします。



議会・町政に関する町民の皆様の声をお聞かせください。
(議会だよりの感想やご意見でも結構です。) 議会事務局 FAX 66-2190

-----切り取り線-----
記入、○印をつけてください。

お名前（任意）			
お住いの地区	中野、本郷、成島、柳島、南部、大塩、内船上、内船中、内船下、井出、十島、佐野、楮根、文京、中央、天王、向田、御堂、皐月、徳間、朝日、富士見、元宿、新宿、陵草		
性別（任意）	男性	女性	未回答
年代（任意）	____ 歳代		
ご意見・感想			

議員レポート

訪問しました

『ササユリ祭に誘われて』

6月8日(日)10時から南部町中野峰の窪の西側山中で、毎年裏切ることなく、6月10日頃に開花する日本特産の「ササユリ」に魅せられて、片想いと知っていながらも薄いピンク色の可憐に咲いている「ササユリ」を観賞させてもらいました。

本州中部以西と四国、九州に分布するユリ科の多年草ですが、主催者いわく、南部町に咲く「ササユリ」は北限の生息地とのことです。

まさに、身延線の十島から身延町塩ノ沢の沿線に咲き、国道52号線は相又辺りまで咲きほこる「ササユリ」の開花時期はひたむきに咲く、白とピンクの美しさに惹きつけられます。

また、少しずつ植生が減退するなかでそれを守り保護していくことを実践しているログクラフト事業協同組合と里山研究会に拍手を贈りリスペ

クトしていきたいと思います。

無料配布された木のぬくもりを感じる手作りプラントーも大切にしたいと思っています。

町民の健康づくりと健脚維持に繋げるため、中野峰の窪から本郷の千年桜までを「フルディックウオーキングコース」にしてはどうかとの、町民の声があります。

桜咲く時期とログハウス周辺に咲くササユリ、さらには雑木林色付く秋も楽しみですね。

心を奪われる、ひたむきに咲く「ササユリ」に万歳！

小泉昇一



みなさん来年は



鑑賞してください

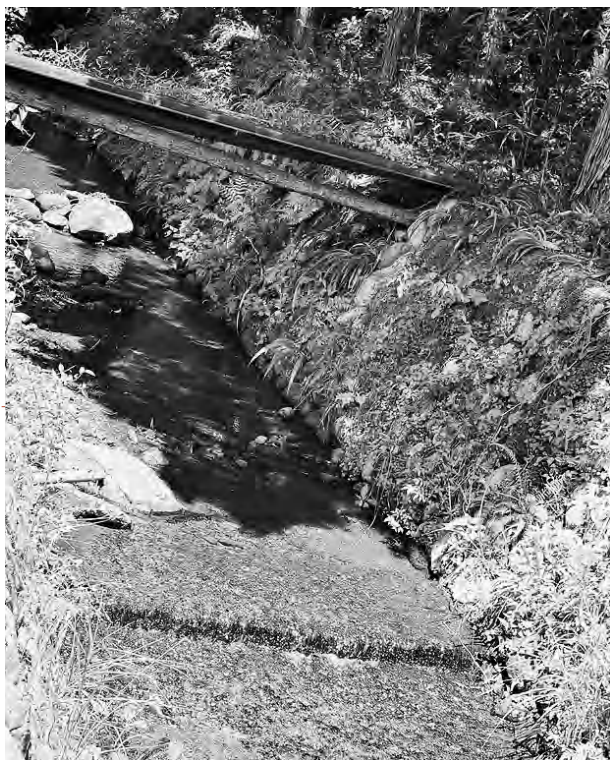
ホタルの光に囲まれて

徳間区の老人クラブの皆さんが、蛍が飛んでいた場所に再び、蛍の光を呼び戻そうと立ち上がりました。

4月からホタルの幼虫の餌となるカワニナを用意し、6月15日の日曜日に、準備してきた蛍を3カ所に放流しました。

300匹のホタルは、参加した役員の皆さんの手から飛び立ち、暗闇の中を力いっぱい照らしていました。

「キレイ！」「すごい！」とあちこちから声が出てきて、



カワニナ放流



幻想的で淡い光を放ちつつ

老人クラブの皆さんも喜んでいました。
望月会長さんは、来年も蛍が飛ぶことを願い、活動を何年か続けていきたいですねと語っていました。

望月憲之

令和7年度第1回町民と議会との懇談会

参加者65人

(町民53人、議員10人、事務局2人)

令和7年7月9日(水)、午後7時30分より農村環境改善センター2階ホールにて、町民と議会との懇談会を開催しました。

「民意を見つめ、公平な議論をめざしてー議長あいさつ」

町民の皆さまと意見を交わす貴重な機会となった懇談会では、特に地元から多くの反対意見が寄せられました。一方、終了後のアンケートでは賛成意見が多くあり、表には出にくい民意の存在も浮き彫りとなりました。議会としては、町民の皆さまの多様な声を真摯に受け止め、公平な立場で議論を重ねてまいります。

①令和7年度南部町予算の概要

②子育て支援住宅建設に関する事業について

以下抜粋して掲載しました。

- なぜ事業を急ぐのかわからない、議会を軽視している、この事業は白紙に戻し、必要な子育て支援策を実施すべき。
- 空き家、古民家を活用した事業を実施、お試し住宅も充分活用されていない。
- 防災面において旧富中グラウンドは仮設住宅・避難場所など重要な役割を持っている、いざという時のため絶対に残すべき。
- 旧富河小中学校の土地は、学校を建てるために、先人が提供した土地で賃貸住宅を建設するのはいかなるものか。
- 小学校の近くに住宅があることは子供が心配である、こは生活する場所ではない。
- 住宅はいろんな受け皿を作る必要がある、保育園や小学校があることは安心になる。
- 林業センター、図書館跡地に建設し、モデル事業として検証を実施したらどうか。
- 工程表を詳細に提示、論点が明確になる、費用対効果を十分に検討してほしい。
- 事業の進め方に問題、県と

- の協定に疑問。データ分析のために億単位の町の予算を使うのは、かなり冒険的と思う。
- 協議は0スタート。議会はこのような懇談会の場を多く持つて欲しい。充分協議をして、町も議会も町民に情報提供して欲しい。
- 素晴らしい事業で、早く実行すべき、町の木材を活用して建設して欲しい。
- 人口減少対策のための事業です、グラウンド使用者にお願い、将来の若者たちのために譲って下さい。
- 若い人達が住む事業は大切、土地を求めて住んでもらいたい、他所の事業を検証し、リスクを減らして欲しい。
- 賃貸住宅では子育てが終わった時に不安、将来空き家になる家が多くある、こうした家を格安で譲ってもらえる支援策など土地を購入して住んで貰ったほうが良いのでは。
- この事業が早すぎて、アルカディアへ移れと言われても詳しい説明がない。同じようにサッカーができるか不安になる。各種申請もスマホで申請。
- 子育て支援課は分庁舎のみで、子育て中のママには不便

- で優しくない。住宅に何億もかける前にもっと子育てに優しい施策があるのではないか。
 - 6月20日の使用者団体への説明会での意見や質問について内容の公表と児童館の事業の充実をお願いしたい。
 - 建てるのが目的になっていないか、十五年後に4000人になる町で、崩壊地区があちこちにあることを考えれば富中グラウンドのみではなく、各地区に建設すべきと思う。
 - 場所も問題だが、人を増やすことを考えてほしい、高齢者を支える人口を増やす事業を。
- 来場者のアンケート結果
回答46名(来場者53名)
- ①子育て支援住宅建設に賛成33件(72%)
反対6件(13%)
どちらでもない6件(13%)
未回答1件(2%)
 - ②旧富中グラウンドに賃貸住宅建設は賛成26件(57%)
反対17件(37%)
未回答3件(6%)
 - ③他の候補地であれば賛成か賛成17件(71%)

- 反対7件(29%)
- ④建設場所の候補地はどこがいいか

万沢地区1件(3%)
富河地区20件(59%)
栄地区11件(32%)
睦合地区2件(6%)

身近な問題なので、様々な意見がありました。
議会としても町民の皆様の意見を多く聞き、町との協議を重ねていきたいと思えます。



(詳細な内容はウェブサイトに掲載しております。ご覧になる場合は左のQRコードをご利用ください。)



懇談会QRコード



○ 会の紹介

私ども南部町老人クラブ連合会は、高齢化率45%弱に及ぶ南部町内24の各支部（会員数1270人）において、老化予防・心身の若返りと健全化を目指し老人福祉活動を行なっています。

○ 会の役割・貢献

少子高齢化の進む中、世代間の絆づくりや地域社会の伝統行事・風習・習慣の継承を担うのも高齢者の役目ですが、一人で行うには力不足でも組織の中で力を合わせて行うことで可能になることがあります。

老人クラブはその一翼を担い、今後につながる活動を行っています。

○ 会の活動

町内外のグランドゴルフ大会への参加をはじめ、福祉健康まつりへの参加・会員の親睦を図る健康旅行・文化作品展示などの得意分野や趣味を活かしての交流も盛んに行なっています。

一方で、地域にいながら老人クラブや他の組織にも参加できず独居を余儀なくされている方への見守りや友愛訪問・安否確認なども実施し、孤独・孤立対策の一助となっています。

マンパワー不足・会員数の減少といわれる中ですが、これからも地域社会や行政等と連携し、各種団体と協力・助け合って活動を続けていきたいと思ひます。



○ 会員の募集

65歳以上の方ならどなたでも加入いただけます。是非一緒に楽しく健康的な老人福祉活動を行なっていきましょう。

ご希望の方は社会福祉協議会窓口、又はお近くの老人クラブメンバーにお声掛けください。お待ちしております。 **連絡先** ☎64-2075 南部町社会福祉協議会

※シリーズ**こんにちわ!**に掲載団体を募集しています。議会事務局（☎66-3415）までご連絡下さい。お待ちしております。

町民の広場

子どもと共に

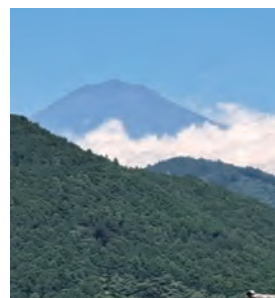
塩川 佳美
(富士見区)

私は結婚、出産を機に3月の終わりに富士宮市から南部町に引っ越してきました。

とは言っても以前南部町の介護施設で5年半ほど働いていたため全く知らない土地ではなく知り合いもあり、慣れ親しんだ富士宮から離れるのは寂しいくらいの気持ちでした。

南部町に引っ越した理由は部屋が安く借りられ、子どもが少ない分いろんな面で手厚い支援が受けられること、夫の実家が近いため頼れる存在が近くにいるという安心感ができると思ったからです。

引っ越してみると周りには子どもが多く、夜泣きや子どもの叫び声に気を遣うこともなくなりまし。また、子どもと散歩をしていると町の方が声をかけて笑いかけてくれたことが私と子どもにとってリフレッシュできる時間になりました。



富士見区の富士

した。

現在、健診で声をかけてもらい育児サークルのくれよんクラブに仲間入りさせてもらっています。行けたら行くかなぐらいの気持ちで参加していましたが、周りのママ達も優しく育児で困ったことや日常生活での些細な話などいろいろ聞いたり話したり楽しんでいます。子どもも参加して始めは、環境が変わり夜泣きをしていましたが、今では周りの子ども達と一緒に遊び動き回って楽しそうに参加しています。生活のリズムもついて良いことかなと感じています。まだ引っ越して三カ月ほどですが、人の温かさや子どもが少ないからこそ大切にしている想いを感じています。これから子どもが成長していく中でたくさんの人に助けていただきながらのびのびと過ごしてほしいと思っています。

議会の動き

4月

25日(金)・議会運営委員会
・第1回臨時議会
・第2回定例会
日程調整会議

5月

8日(木)・中部横断自動車道建設促進連絡協議会
会計監査
9日(金)・第1回町村議会議長会議
13日(火)・第1回町村議会運営委員会
14日(水)・第7回研修委員会
20日(火)・例月現金出納検査
21日(水)・議会運営委員会
・第2回臨時議会
・子育て支援住宅事業説明会及び懇談会
22日(木)・市町村総合事務組合議会臨時議会
26日(月)・自治功労者表彰式・町村議会議員研修会
27日(火)・町村議会議長・副議長研修会(28日まで)
・国道469号建設促進期成同盟会通常総会
28日(水)・アクティブチャレンジ2025
30日(金)・議会運営委員会
・議員懇談会
・子育て支援住宅(子育て)

6月

3日(火)・町村監査委員協議会総会・研修会
9日(月)・社会福祉協議会評議員会

10日(火)・第2回定例会
1日目(開会)

・総務建設・文教厚生常任委員会(請願審査)
11日(水)・第1回広報編集会議
・第2回定例会
2日目(現地視察)
・子育て支援住宅事業説明会及び懇談会
13日(金)・第2回定例会
3日目(閉会)

7月

17日(火)・あじさいまつり開会式
・光ネット運営委員会(委嘱式)
20日(金)・例月出納検査
23日(月)・第2回広報編集会議
24日(火)・行政視察研修
26日(木)・鳥取県伯耆町・境港市

7月

3日(木)・火祭り実行委員会
4日(金)・第3回広報編集会議
9日(水)・令和7年度第1回町議会議員懇談会
11日(金)・県町村議会議長会・広報委員研修会
14日(月)・第4回広報編集会議
18日(金)・第5回広報編集会議
23日(水)・第2回町村議会議長会議

○議会傍聴のご案内

次の定例会は9月です。

議場入口で受付をしていたければ、だれでも傍聴できます。詳細は議会事務局へお問い合わせください。

☎ 64-3415

編集後記

▼平成15年3月、町が合併し、当時の人口は11000人ほどでしたが、令和7年6月末には7000人を切ってしまっています。

空き家の数も約500件あり、耕作放棄地も増え、このままではいずれ、限界集落となってしまうのではないのでしょうか。

何か手をうたなければなりません。

現在、町では、空き家バンクへの登録を推進しています。所有者の方には登録をお願いします。

定住を決められた方にお話しを伺うと、南部町は清流が綺麗で緑も多く、大変住みやすいとのことでした。

中部横断自動車道が開通したことでアクセスもよくなり、議会でも大勢の人が南部町に住んでもらえるような街づくりに努力してまいります。

久しぶりに我が家の庭先にゲンジボタルが鮮やかな光を保ち、ひと時の癒しを過ごさせていただきました。来年も来てくれることを期待して待ちたいと思います。

(仲亀佳定)

委員長 望月 憲之
副委員長 小泉 昇一

望月 若良
仲月 佳一
望月 潤一郎